

会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 研修部会	
開催日時	令和5年11月9日(木) 開会：18時30分 閉会：19時15分	
開催場所	産業文化会館 第2会議室	
出席者(委員)氏名	溝上俊亮、澤田千尋、豊島拓海、河野真也、加藤里美、	
欠席者(委員)氏名	堀内 規、江黒 徹、小林永治、出雲秀章、島田由紀子、前田千穂、平野輝利人、川島 治	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケアグループ	
会議内容	1. 新しく加入した方の自己紹介 2. MCSの現状 3. 今後の研修内容	
会議資料	(資料名・概要等) ふらっと会議(令和5年11月9日) エンブレース株式会社打合せ備忘録	
その他必要事項		
会議録の確定	確定年月日	主宰者記名
	令和5年11月29日	澤田千尋 溝上俊亮

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
各委員	<p>[開会] 18：30</p> <p><議題></p> <p>1. 新しく加入した方の紹介</p> <p>通所リハビリ連絡会から平野氏が、メンバーに加わった。</p> <p>2. MCSの現状</p> <p>患者情報共有・ICT部会がエンブレース社と面談した。その際に、ケアマネジャーや訪問看護が招待者として行っているところがあり、自由に使うところが増えている。</p> <p>MCSのデメリットとして、以前、薬剤師として看取りのケースのグループに参加したが、設定後数日で終了(死亡)したケースとなり、活用できなかったことがある。</p> <p>LINE様の機能、ビデオ通話など使えばメリットはある。</p> <p>ケアマネジャーがホストになってグループを組み、医師に入ってもらいなどのルール改正ができるとうい。</p> <p>MCSのルールの改正やネットワークを作ってから研修がよいのではないか。</p> <p>3. 今後の研修内容</p> <p>多職種と話をする機会を設けたい。</p> <p>もう一步踏み込んだ「連携」を意識した研修が良いのではないか。</p> <p>事例を使った場面設定が分かりやすい。</p> <p>例：一つの症例で多職種が話し合う。</p> <p>入退院シートを活用する事例</p> <p>看取り（複数事業所を使う例）</p> <p>各事業所同士の連携の取り方</p> <p>過去の研修では、認知症の事例を用いて行った。</p> <p>連携が必要だと感じられる研修で、誰がどう関わるか理解できる研修となると良い。</p> <p>研修の実施時期としては、来年度の初めの頃が現実的と考える。</p>

次回の会議までに、個々に考えてくることとする。

【閉会】 19：15